記者発表資料

平成２３年　９月　１日
東 北 地 方 整 備 局

入札監視委員会第二部会第１回定例会議（７月２２日）の審議概要について

～抽出案件６件を審議、意見の具申・勧告はなし～

平成２３年度東北地方整備局入札監視委員会第二部会第１回定例会議が、７月２２日（金）、東北地方整備局で開催されました。

部会開催にあたり、部会長に真野委員を選出し、部会長代理には貝山委員が指名されました。

定例報告では、①工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等・物品の製造等の発注案件、②指名停止措置の運用状況、③再度入札における一位不動状況④低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況について報告を行いました。

議事では、委員により抽出された案件６件の審議が行われ、委員からの意見の具申・勧告事項はありませんでした。

〇審議概要は別紙のとおりです。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問 い 合 わ せ 先

国土交通省　東北地方整備局
仙台市青葉区花京院一丁目１番２０号　　TEL (022)716-0013（ダイヤルイン）

契 約 管 理 官　　佐藤（さとう）　豊（ゆたか）　（内線６２２１）

経理調達課課長補佐　　本間（ほんま）　和彦（かずひこ）（内線６５５４）

東北地方整備局　入札監視委員会（第二部会）審議概要

開催日及び場所		平成２３年　７月２２日（金）東北地方整備局会議室	
委員		部会長　真野　明　（東北大学大学院工学研究科教授） 部会長代理　貝山　道博　（山形大学人文学部教授） 委　員　齊藤　幸治　（弁護士）	
審議対象期間		平成２３年　１月　１日～平成２３年　３月３１日	
総抽出案件		総件数　６件	
工事	抽出案件	件数　３件	
	一般競争（WTO対象）	０件	
	一般競争（WTO対象外）	２件	
	工事希望型競争	０件	
	通常指名競争（港湾土木）	０件	
	通常指名競争（空港等土木）	０件	
	通常指名競争（港湾・空等等土木以外）	０件	
	随意契約	１件	
建設コンサルタント業務等		２件	
役務の提供等及び物品の製造等		１件	

委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり

委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし

抽　出　案　件　工　事　概　要　書

	工　事　名	入札・契約方式	工事場所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応募 業者数	参加 （指名） 業者数
1	青森港油川地区防波堤（第一北）築造工事 （その２）	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	青森市青森港港内	362,775 １回目落札	9者	9者
2	久慈港湾口地区防波堤（南堤）本体工事 （その２）	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	久慈市久慈港港内	108,150 １回目落札	2者	2者
3	石巻港港内維持工事	随意契約	石巻市石巻港港内	98,175 －	－	1者

抽出案件建設コンサルタント等概要書

	業　務　名	入札・契約方式	履行場所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応募 業者数	参加 （指名） 業者数
4	長寿命化を考慮した港内環境改善対策検討業務	簡易公募型 プロポーザル	－	14,889 －	5者	5者
5	仙台塩釜港（仙台港区）外港湾施設等被災状況調査	随意契約	仙台市仙台塩釜港 （仙台港区）内 石巻市石巻港港内	142,800 －	－	1者

抽　出　案　件　役　務　及　び　物　品　概　要　書

	業　務　名	入札・契約方式	履行場所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応募 業者数	参加 （指名） 業者数
6	相馬港おきかぜ修理工事	一般競争	請負者造船所	5,617 ２回目落札	1者	1者

別　紙

NO. 1

	意見・質問	回　　答
1-1	定例報告 「対象期間における発注案件について」 ・特になし	
1-2	定例報告 「指名停止措置の運用状況」 ・特になし	
1-3	定例報告 「工事種別ごとの再度入札における一位不動状況」 ・特になし	
1-4	定例報告 「工事種別ごとの低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況」 ・特になし	
2-1	審　　議 一般競争 「青森港油川地区防波堤（第一北）築造工事（その２）」 ・技術資料の提出可能者が、他の工事と比べると少ないが、その理由は何か。 ・応札者の入札価格にほとんど差がみられない理由は何か。 ・落札者の加算点が他者より高い理由は何か。 ・工事の中止等、震災の影響は無かったのか。工期が延びることにより、受注者の負担増につながっていないか。	・施工実績として求めた同種工事が「鉄筋コンクリート異形ケーソンを据付した工事」としており、他の工事と比べて実績を有する者が若干少ない結果となった。 ・積算基準も公表されており、また、過去の同種工事の積算内訳書も公表されていることから、精度の高い積算が行われ、調査基準価格に近い額での入札があった結果だと考える。 ・求めた技術提案の「ケーソン曳航時の航行安全対策」に係る評価が高かったためである。 ・東北地方整備局では、震災後、被災した地域の復旧を最優先に行うため、全ての工事を一時中止する措置を取っており、本工事についても３週間の一時中止を行った。工事の一時中止期間中は、管理技術者の専任義務も解除されており、本工事の場合は、契約直後で現場も動いておらず、工期の変更もないため、受注者への大きな影響はなかったものと考えている。
2-2	一般競争 「久慈港湾口地区防波堤（南堤）本体工事（その２）」 ・入札参加者が２者と少なかった理由は何か。 ・天災で被災した場合の損害について、民法上は受注者の負担となるが、公共工事の場合は負担はどのようになっているのか。	・施工実績を有し入札に参加しなかった一部の者にヒアリングしたところ、実績を有する技術者が他の工事を担当しているため配置できなかったこと、現在公告中の他の工事に実績を有する技術者を優先的に配置するため、本工事に技術者を配置することができなかったことが、入札に参加しなかった理由であると聞いている。 ・請負代金額の１％までの損害額については受注者が負担し、１％を超える分については発注者が負担することとなっている。

別　　紙

	意見・質問	回　　答
2-3	審　　議 随意契約 「石巻港港内維持工事」 ・工事着手が３月１３日で契約締結は３月３０日となっているが、工事着手の時点で受注者は概ねの受注額を把握できるのか。 ・見積合わせの回数に制限はあるのか。数回で決定金額となるのはどのような理由が考えられるか。	 ・発災直後は港内の支障物の状況が不明であったため、工事着手時点で契約総額を把握することは難しい状況であった。３月３１日に契約変更を行っているが、その時点では港内の状況が判明してきており、概ねの受注額は把握できたと考えている。今後は実績に応じて精算変更を行うこととしている。 ・随意契約の場合は、見積合わせの回数に制限はない。推測となるが、見積相手も積算根拠をもって見積金額を算定しており、見積金額を下げる場合は積算を見直して算出するため、ある程度まとまった金額となるのではないかと考える。
2-4	審　　議 簡易公募型プロポーザル方式 「長寿命化を考慮した港内環境改善対策検討業務」 ・港内環境改善対策と防波堤長寿命化はどのような関係にあるのか。 ・プロポーザル方式の場合、競争参加者が１者又は少数であるケースも多いが、本件については複数の参加者があり、よい傾向にある。	 ・湾口防波堤のような閉鎖性水域では、湾内の環境改善も重要な課題となっており、施設として長く使っていくためには環境への配慮も必要となることから、このような業務名としている。
2-5	審　　議 随意契約 「仙台塩釜港（仙台港区）外港湾施設等被災状況調査」 ・業務はいつ完了しているのか。	 ・履行期間を変更しており、７月２９日までに完了予定である。
2-6	審　　議 一般競争 「相馬港おきかぜ修理工事」 ・相馬港以外にある企業も入札に参加してくることはあるのか。 ・参加可能者は４者いるが、１者しか入札に参加しなかった理由は何か。 ・当該船舶は東日本大震災での被災はなかったのか。	 ・競争参加資格では、基地港所在県又は隣接県において修理施設を有する者としており、相馬港以外の企業も参加可能である。同様の船舶修理工事に他港の企業が入札に参加し、落札した事例もある。 ・他船の修理工事と重なりドックの空きが無いこと、技術者等の配置が困難であったことが、参加しなかった理由と考える。 ・受注者の施設等が被災を受け、当該船舶についても船体に損傷が見られるが、詳細は調査中である。